



THE HIROSAKI UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN
弘前大学附属図書館報 No.27 2008.3

目次

巻頭言 図書館で友に会う	1
特集 『言語力』大賞コンテスト	2
図書館への声 学生アルバイトから見た図書館	14
lead-off インターネットシナプス	18
lead-off 本との出会いを楽しむ	19
lead-off 弘前大学出版会より本の紹介	21
lead-off 弘前大学学術情報リポジトリについて	23
lead-off Scopus 中止に伴う代替 DB の紹介	25
学術講演会・会議・総合文化祭報告	27
本学教員等著作寄贈図書・資料一覧	31

図書館で友に会う

附属図書館長 正村 和彦



大学に入って良いことは、新しい友を得ること、新しい先生に出会うこと、新しい関心事に出会うことである。大学にはもう一つの出会いがある。図書館には数万冊の本がある。これらのそれぞれには、日本の、世界の深く思索した人のどうしても言わなければならない言葉が記されている。大学で直接会える人の数と種類は少ないが、図書館でははるかに多くの多様な人々に接することができる。一生の伴侶とする本に出会う幸運な人もいる。人と付き合う時、お互いに好き嫌いがあるが、本の場合相手は決して自分を嫌うことはない。お付き合いしたくない日は、その辺にほっておけばよい。数年間その存在を忘れてしまっても本は怒ったりしない。私にもこのような友が数人いる。この中にはノーベル賞受賞者もいる。だがその名は明かさない。

(しょうむら かずひこ)